

団長の独り言

7月31日(日)

まだまだ稽古したいけど。

6月から始まった「人生芸夢」の夢のとおりに稽古は今日で一旦終了。

思い起こせば数か月前、稽古スケジュールを考えている際、「来年の2月公演の稽古を6月から始めて、果たして大丈夫だろうか？中だるみしないだろうか？」という不安はあった。

しかし、稽古が始まると誰も彼も真剣そのもの！すでにセリフを入れてくる(覚えてくる)役者もいるし、着物を着て所作をキチンと確認しながら稽古を行う役者もいて、「本番は、まだ当分先でしょ？」って感じで、舐めてかかってくる雰囲気は醸し出す「ベテラン俳優殿」は誰もいない。

当初の稽古予定では、「6月7月は、エンターテイメントはしっかりやって、芝居に関しては軽く流す程度」と考えていたのだが、これまでの皆さんの熱意とやる気に刺激され、「流す稽古」なんてどこかに飛んで行ってしまい、ここ最近の稽古では、通常の稽古のごとく、かなり細かい部分まで掘り下げての抜き稽古を行ってきた。

そしていよいよ本日、「人生芸夢」のとおりに稽古の前期稽古最終日となったので、この2か月間行ってきた稽古の集大成的な感じにしようと思っていたのだが、いざ稽古を始めると、何度もやったシーンなのに、集中力の欠いた芝居の連続。

仕方ないので、何度も何度も同じシーンを繰り返すと、「そう、それ！」って芝居がようやくやく表れた。そこで更に掘り下げたくなったけど、「集大成の稽古」が出来なくなるので、仕方なく次のシーンへ。

するとその次のシーンでも、またしても、「いえいえ……だからね」って芝居が現れたので、ちょっとイラつきながらダメを出しつつ稽古を進めると、かろうじて形にはなったので、よくし！じゃく次のシーンもやって集大成に……と時計を見ると、まもなく稽古終了の時刻。

残念だけど、ここで稽古終了となる。理想としては、昨日今日の稽古で、「人生芸夢」の夢のとおりに稽古をちゃんとした形にして、来月からの「久美・美容室物語」の稽古に突入した

かったのだが、1シーン、1シーンに時間を掛けすぎた。

ただ時間を掛けたシーンは「いい感じ」にはなったので、せめてその感覚は忘れないように、月曜日、火曜日、水曜日あたりまでは「人生芸夢」の夢のとおりに稽古の復習をやって、木曜日あたりから頭も心も切り替え、「久美・美容室物語モード」になっていた。8月6日(土)から始まる「久美・美容室物語板橋公演」の稽古に挑んでもらいたいところ。

久美・美容室物語は、今年の2月に上演した作品だし、キャストもほぼ同じキャストなので、それほどガッツリ稽古しなくても……って思われる方もいるかもしれないが、2名のキャストが代われれば、脚本は同じでも、全く新しい作品をつくるのと同じ気持ちで稽古に挑む事になる。私も頭切り替えなきゃなあ。

あくでも、本音を言えば、「人生芸夢」の夢のとおりに稽古、もっともっとしたいなあ……ってところ。しかし、じゃくもうちょっと「人生芸夢」の夢のとおりに稽古を行おうか？ってなわけにもいかない。

そんなことをしたら、「久美・美容室物語」の稽古日数が減ってしまい、本番直前になって、「あの時、人生芸夢の稽古をするんじゃないかった！」って後悔するのは、これまでの経験上、目に見えている。

「1日くらい稽古日数が減っても大丈夫」と言えるレベルの団体じゃないので稽古で補うしかないのです。

それほど劇団ふあんハウスにとって、芝居の稽古するのは、めっちゃめっちゃ大事な事ですなあ。

だからこそ、数か月後に再開する「人生芸夢」の稽古時に全くの振り出しに戻ってしまうという時間を無駄にする事態にはならないよう、2か月間稽古してきた事をキチンと心に身体に焼き付けておいて欲しい。祈るような思いで、一旦、「人生芸夢」の夢のとおりに稽古を終了させたのであります。